

令和2年度 3年 国語科授業の略案

月日(校時)	単元名	教材名
11月27日(金) 4校時	心にのこったことを伝え合い、考えを広げよう。	モチモチの木
本時のねらい(8/10) ○自分の考えがどの叙述にもとづいているかを明らかにしながら話し合することができる。		
評価規準 ☑ 自分の考えがどの叙述にもとづいているかを明らかにしながら話し合っている。		
学習過程	学習活動(○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価・キーワード
【導入】 (2分) 11:30	1 前時までの学習をふり返る。 ○前時の学習のふり返りをペアで伝え合しましょう。	・話し合う時間を十分に確保するために、家庭学習などの時間を活用し、事前に課題について自分の考えを持っておくようにする。
【展開】 課題把握 (5分) 11:32 見通し 自力解決 (8分) 11:37 解決活動 グループ学習 (15分) 11:45 全体学習(15分) ・学び合い ・考察 12:00 まとめ (4分) 12:04	2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">☐ か 豆太は勇気のある子どもにかわったのだろうか。</div> 3 学習の流れを確認し、見通しをもつ。 (グループ学習(15分)・全体学習(10分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学習内容 「豆太は勇気のある子どもにかわったのか」について、どこから考えたのかを示しながら自分の考えを伝える。 学習方法 自力解決・・・①自分の考えをノートに書く。 (線を引いたところを参考に) ②短冊に書く。 グループ学習・・・①短冊を見せ、「どこからそう考えたのか」を示しながら話す。 ②短冊をもとに、「質問」をしたり、「にている点」、「ちがう点」を話し合ったりする。 全体学習(考察)・・・☐かについての考さつを行う。</div> 4 課題について話し合う。 (1)代表児童の発表を聞く。 (2)グループで話し合う。 ①短冊を見せ、自分の立場と、どこからそう考えたのか(根拠)を示しながら話しましょう。 ②短冊やその根拠をもとに、質問・にている点・ちがう点を話し合しましょう。 (3)グループで話し合ったことをもとに、全体で共有する。 ○自分の考えと比べながら話し合しましょう。 5 本時の学習のまとめをする。 ○友達の考えを聞いて、今日の課題に対する自分の考えをまとめましょう。	言語わぎ:どこから考えたのか(根拠)をもとに自分の考えを伝えよう。 キーワード:じさまへの思い 気持ち やさしさ 勇気 ・学習の見通しが持てているかハンドサインチェックを行う。 ・見通しが持ていない児童には、掲示物や今までノートなど、考える手がかりとなるものを示す。 ・課題に対する考えの表し方について共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">わたしは、(立場)と思いません。 理由は、(叙述を示しながら)～からです。</div> ・自分の考えは、代表児童のどの考えと近いのかなど、自分の考えと比べながら聞くように促す。 ・話し合いを通して、自分の考えがどのように変容したのか、結論づいたのかを各自でまとめさせる。 ◎根拠となる文や言葉を明らかにし、それを解釈しながら課題に対する考えをもつことができている。(ノート・短冊・発言)
【終末】 ふりかえり (3分) 12:15	8 本時の学習をふり返る。 ○今日の学習の振り返りをしましょう。 ・ぼくは、最初は「豆太は勇気のある子どもにかわったのだ」と思ったけど、○○さんの考えを聞いて、「かわったわけではなく勇気というものはいつものは出なくて、いざという時に出る」と考えるようになりました。	・友達の考えや意見を聞いて、立場が変わったことや考えが深まったこと、もっと考えてみたいことなどを振り返るよう促す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">☑ わたしは、「豆太は勇気のある子どもにかわったわけではない」と思う。理由は、おくびようだった豆太が医者様を呼びに行けたのは、じさまが大すぎて大切だから、そのじさまが死んでしまう方がいやだったから、いざという時に勇気が出たのだと思う。(「やさしさ」から勇気が出た)</div>		